

(1) 令和2年度 事業報告(案)について

1 事業の内容

○こだかさ障害者支援センター(就労継続支援A・B)

(1) 開所(就労)日数 264日 (第2・4土曜日営業日)

- ・木工科 8:30~17:00
- ・軽作業/洋裁科 9:00~16:00
- ・理美容科/鍼マッサージ科 ㊟8:30~15:30 ㊞10:00~17:00

区分(定員)	木工科	洋裁科	理容科	美容科	鍼灸マッサージ	計(現員)
A(10)	3	—	1	1	—	5
B(44)	29	5	1	1	8	44
計(54)	32	5	2	2	8	49

(2) 利用者数 (3/31現在 単位:人)

(3) 平均月額工賃(秋/春の奨励金含む) (単位:人・円)

区分	3万未満	3~10万	10万以上	最高額	最低額	月平均	
A型	—	—	5	211,952	113,845	153,819	
B型	木工科	7	18(1)	5	147,814	7,443	52,476
	洋裁科	5	—	—	29,020	538	11,920
	理容科	—	1	—	66,063	—	—
	美容科	—	1	—	70,893	—	—
	鍼灸マッサージ	2	6	—	84,443	14,514	46,342
計	14	26(1)	10	—	—	46,737 (46,728)	

()年度中に転出した利用者数字再掲 月平均の下段の()は前年度

* 令和元年度 高知県内就労継続支援(A型・B型)事業所の平均月額工賃

A型 23施設 92,416円、B型 99施設 20,005円

(4) 売上/工賃内訳 (単位:千円)

区分	木工科	洋裁科	鍼灸マッサージ	理容科	美容科	喫茶	合計
A売上	8,968	—	—	1,457	1,438	385	12,248
B売上	25,533	1,911	3,661	375	313	—	31,793
合計	34,501	1,911	3,661	1,832	1,751	385	44,041
A賃金	5,543	—	—	1,262	1,251	223	8,279
B工賃	18,500	711	3,850	793	851	—	24,705
法定福利費	1,021	—	—	233	233	—	1,487
※作業員賃金	2,674	—	—	—	—	—	2,674
合計	27,738	711	3,850	2,288	2,335	223	37,145
人件費の割合(%)	80.4	37.2	105.2	124.9	133.4	57.9	84.3

(5) 行事等活動内容

行事等

5/24、27	県障害者スポーツ大会（中止）
8/13～15	夏季休暇（昨年度より短縮）
9/14～24	個別支援会議
10/20	利用者検診（高知検診クリニック）
10/5～11/12	希望者インフルエンザ予防接種 （利用者：センター37人、個人12人、未接種4人）
11月	利用者・職員研修旅行（中止）
12/14	盲学校と合同の地域交流会（中止）
12/26	地域の清掃活動
12/28	仕事納め（密を避けるため各科）
1/6	仕事はじめ（各科で）
1/27	『青森りんご』受け渡し（贈呈式なし）
2/17～26	個別支援会議
2月	消防訓練（日中）中止 火災報知設備の説明
3/11	消防訓練(夜間)

研修・視察等

10/6	高知県社会福祉法人経営者協議会特別セミナー	2名
10/28	高知県美容生活衛生同業組合総会地区会	1名
11/30	高知県美容生活衛生同業組合中央公園清掃活動	1名
1/20	高知市保健所「食品衛生法の改正（ハサップに沿った衛生管理）」	1名
1/29～2/28	高知市障がい福祉課「高知市救助救出計画」WEBでの研修会	16名

理事・評議員会等（場所：小高坂更生センター3階 研修室②③）

6/5	法人監査
6/5	第1回評議員選任・解任委員会
6/15	第1回理事会（書面決議）
6/27	第1回評議員会（書面決議）
1/29	監事への予算の執行状況報告
3/26	第2回理事会

加盟団体の会議

書面決議

高知県身体障害者（児）施設協会会議
全国社会就労センター協議会総会
高知県社会福祉法人経営者協議会会議など

販売活動

8/5～11	高知大丸木工連フェア	鳴子の販売
8月	朝霞市民祭「彩夏祭」(中止)	(埼玉県)
8月	よさこい祭り (中止)	
8月	原宿スーパーよさこい (中止)	(東京都)
10月	大阪ゑえじゃないか祭り (中止)	(泉佐野市)
11/19～25	大丸イベント木工製品フェア	出品
2/27～28	もくもく住まいパーク	木工製品の販売

マスコミ報道

5/25	よさこい中止を乗り越え鳴子を手掛ける業者が、布マスク製作に力を入れる
5/27	ユニークな鳴子アイテムが話題！スマホスタンド「おけるき」
10月	ウッドデザイン賞 2020 (林野庁) 受賞 ①木工科利用者田所さんのいす ひのき②鳴子

実習・見学等

11/2	県立盲学校「総合的な学習校外学習」生徒/教員 8名
11/25	高知市立小高坂小学校 2年生 グループ別「私たちの町のすてき」

その他

11/25	高知県社会福祉大会表彰 (5名)
-------	------------------

(6) 課題への対応等

- ・新型コロナウイルスの感染への対応
別紙1のとおり、利用者・職員が互いに助け合いながら協力して、感染防止対策に取り組み、利用者・職員の命と安全確保に努めている。
また、ワクチン接種については、利用者等に対して、説明と理解のもとに同意を得て進めている。
利用者及びネットに不慣れな職員の予約についてサポートするとともに支援が必要な利用者には接種時には付き添うこととしている。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、よさこい祭り関連イベントの中止が相次ぎ、当法人始まって以来の試練である。
令和2年度の鳴子の受注(10,396千円)は、対前年度比(40,871千円)の2割5分程度であった。
このため、国・県・市の助成金の申請決定(別紙2)に積極的に取り組むとともに、民間の方の寄付、長年取引のある業者の受注協力を得て、預貯金を崩すことなく利用者の工賃は昨年度並みの支払いをした。

今後、

- ① 鳴子の生産計画の見直しとともに
- ② 近年、スマホによる鳴子などの注文が圧倒的に多くなっており、ネットショップのスマホ対応が必要である。
このため、顧客の利便性と売上げを伸ばすため、ショッピングカードシステムを導入し、セキュリティ対策を講じながらクレジット決済による鳴子の受注販売業務とする鳴子工房WEBホームページのリニューアルを行い、利用者の工賃アップに努める。
- ③ 関連業者との連携による木工製品の受注確保、ふるさと納税返礼品の受注拡大、新たな商品開発
- ④ 木工会、利用者リーダーシップ会において受注状況の把握と共有
- ⑤ 高知県木製品工業連合協同組合（木材加工事業者）との連携による共同販売や共同購買、経営・技術向上
- ⑥ 軽作業の作業能力の向上と工賃アップに努める。
- ⑦ 6S運動（整理 整頓 清掃 清潔 習慣 スマイル）のパネル等の掲示による周知徹底と職員の意識改革を図る。

- ・ コロナ感染の拡大や国・高知市の第6期障害福祉計画の策定（令和3年～5年度）を踏まえ、各方面の意見を聞きながら当法人現社会福祉充実計画（平成29年～令和3年度）の計画延長も含めた見直しを行い、計画の再構築を行う。
- ・ 世界的な建築木材の重要増加に伴う、木材不足や海上輸送運賃の上昇により木材価格が高騰している。
いわゆるWOODショック対策として、情報収集に努めるとともに業者の協力も得て適正な価格の木材の確保に努める。
- ・ 小高坂の基本方針に基づき、利用者、職員がお互いに助け合い、支え合いながら心を磨き、よりよい職場づくりに努め、この難局を乗り越えていくこととする。

別紙1 新型コロナウイルス感染防止への対応状況（令和2年度）

- 1 職員会において「新型コロナ感染防止委員会」開催。
朝礼等で随時報告・協議、情報共有。
- 2 本館玄関入口において、来客・手話養成講座受講者等に職員がローテーションのもとに交代でアルコール手指消毒（ノータッチ式ディスペンサー等）、検温（非接触型体温計、サーマルカメラ）、マスク着用のチェック。
早出時及び作業終了後に各出入口ドアノブ、エレベーターボタン、手すり、蛇口、テレビリモコン、喫茶、自販機、公衆電話等の除菌作業。
- 3 利用者には感染予防の啓発・遵守・注意喚起（説明会、朝礼時、終礼時適宜）。
マスク着用、検温、アルコール消毒手洗い、3密を避ける等。
終礼 木工科1階と2階に分けて。
昼食 教室形式により2班に分け、食事。
- 4 毎日利用者、職員検温表に記入。
利用者に終礼時、検温表、翌日のマスクを消毒したファイルに入れ、手渡し。
- 5 6月1日から理美容・はり灸マッサージ科業務再開。
（3月4日～5月末臨時休業）
理美容科（椅子3台→2台）、はり灸マッサージ科（7ベッド→5ベッド）
予約制、随時除菌作業、換気。理容科：髭そり時、フェイスシールド着用。
- 6 研修室の貸出し 夜の講座は3階で検温、アルコール手指消毒、換気。
会議終了後除菌作業の実施。感染状況により貸出し中止。
- 7 くすのき寮 毎日検温、玄関入口でアルコール手指消毒。
手すり、ドアノブ、蛇口等除菌作業。
- 8 感染拡大時の細木病院等定期診察 電話にて受診後薬局で薬、受け取り。
- 9 職員及び家族の県外移動・帰省の場合、事前届出。
緊急事態宣言地域等への移動自粛。
家族が緊急事態宣言地域等から帰省の場合、PCR検査の半額助成。
- 10 新型コロナウイルス感染及び感染の恐れのある場合等の職員の特別有給休暇の制度化。（就業規則の一部改正）

別紙2 令和2年度新型コロナウイルス感染症に関する給付金(助成金)一覧表

給付金名(助成金名)	(目的)	給付金額(助成金額)
1 国の雇用調整助成金	(A型休業補償)	1,049,481円
2 国の持続化給付金	(売り上げが前年同月比50%減少の事業者の事業継続)	2,000,000円
3 県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金	(感染症対応従事者慰労金)	2,069,000円 (1,314,000)
	(感染症防止のための対策事業費)	(755,000)
4 国の家賃支援給付金	(家賃の負担軽減)	167,640円
5 県新型コロナウイルス感染拡大防止支援金	(あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう施術所の感染防止対策)	100,000円
6 県新型コロナウイルス感染症対策雇用維持特別支援給付金	(売上減少に伴う事業の継続と雇用の維持)	1,951,358円
7 高知市就労継続支援事業費補助金	(就労継続支援B型工賃助成)	4,086,224円
	4月～9月分(34名)	2,361,618円
	10月～12月分(34名)	1,107,208円
	1月～3月分(33名)	617,398円
8 高知市衛生管理体制確保事業費補助金	(衛生用品の購入)	709,429円
9 NHK放送受信料の免除	(くすのき寮)	2か月分
合 計		12,133,132円
*その他マスク、感染防止用ビニール袋の配布(数回)		
*一般社団法人きよしサント基金(30万円)、匿名(20万円)		
株式会社カネエイ:須崎市(20万円)		

《売上推移》

1	木工科	(合計)	(鳴子)	(木工製品)	(軽作業)
23年度	40,178千円	(24,592)	(15,151)	(435)	
24年度	40,710千円	(27,289)	(12,893)	(528)	
25年度	50,300千円	(34,442)	(15,067)	(791)	
26年度	47,734千円	(26,761)	(20,095)	(878)	
27年度	60,197千円	(36,188)	(21,910)	(2,099)	
28年度	63,005千円	(36,602)	(24,576)	(1,827)	
29年度	61,007千円	(34,436)	(24,185)	(2,386)	
30年度	62,316千円	(35,577)	(24,772)	(1,966)	
1年度	66,653千円	(40,871)	(23,614)	(2,168)	
2年度	34,499千円	(10,396)	(21,702)	(908)	
		* (その他：マスク 1,493)			

2	理美容科	(合計)	(理容科)	(美容科)
23年度	5,502千円	(2,892)	(2,610)	
24年度	5,983千円	(3,172)	(2,811)	
25年度	5,732千円	(3,143)	(2,589)	
26年度	5,862千円	(3,186)	(2,676)	
27年度	6,297千円	(3,221)	(3,076) *3,472件	
28年度	6,286千円	(3,204)	(3,082) *3,459件	
29年度	6,043千円	(2,980)	(3,063) *3,375件	
30年度	5,706千円	(2,980)	(2,726) *3,366件	
1年度	5,409千円	(2,852)	(2,557) *3,130件	
2年度	3,584千円	(1,832)	(1,751) *2,018件	
		*2,018件 (理容：1,320件、美容：698件)		

3	洋裁科
23年度	2,281千円
24年度	1,767千円
25年度	2,237千円
26年度	1,888千円
27年度	1,869千円
28年度	1,797千円
29年度	1,673千円
30年度	1,854千円
1年度	1,663千円
2年度	1,910千円

4 はり灸マッサージ科

(A型利用者3名、B型利用者3名⇒29年度から全員B型へ移行)

23年度	5,974千円	(内、はり灸	994千円)	*2,	996件
24年度	6,439千円	(内、はり灸	991千円)	*3,	197件
25年度	6,139千円	(内、はり灸	1,173千円)	*3,	031件
26年度	5,386千円	(内、はり灸	890千円)	*2,	670件
27年度	5,614千円	(内、はり灸	842千円)	*2,	807件
28年度	5,460千円	(内、はり灸	759千円)	*2,	753件
29年度	5,670千円	(内、はり灸	706千円)	*2,	865件
30年度	5,759千円	(内、はり灸	699千円)	*2,	912件
1年度	5,179千円	(内、はり灸	573千円)	*2,	509件
2年度	3,661千円	(内、はり灸	407千円)	*1,	671件

* 令和元年度売上 79,379千円 (喫茶売上:475千円含む)

令和2年度売上 44,041千円 (喫茶売上:385千円含む)

* 理美容科・はり灸マッサージ科

(臨時休業:令和2年3月4日~5月31日)

○くすのき寮（グループホーム）

（１）開所日数 365日

（２）利用者数（3/3/31）

階（定員）	世話人	利用者
1階（5）		5
2階（10）		9
3階（5）		5
計（20）	4	19

（３）利用者の年齢及び帰省の状況（家族との連携）

利用者の年齢				帰省の状況（２年度中）			
40歳未満	40歳台	50歳台	60歳台	なし	～10日	～30日	50日以上
2名	4名	7名	6名	8名	4名	0名	7名

（４）1人当たりの利用料月額（30日）

（単位：円）

区分	家賃月額 25,000 市町村 10,000 補助	光熱水費 1日 400	食費 3食 680 180/250/250	合計 （作業日の昼食は、 就労事業で請求）
利用料	（自己負担） 15,000	12,000	20,400	47,400
3月の状況	最高（42,980）	最低（31,090）	平均（38,310）	

（５）行事等活動内容

行事等

6月	県障害者スポーツ大会（中止）
8月	高知市納涼花火大会の県庁屋上見物会の申込み支援及び 本館3階での見物会（中止）
10月	高知県身体障害者大運動会（申込み支援）（中止）
10月	利用者検診
10～11月	希望者インフルエンザ予防接種
11月	研修旅行（中止）
11/6～7	寮内大掃除、ワックス掛け
12/22	冬至のゆず湯（1階大浴場）
1/1	新年会
3月	日中消防訓練 本館/くすのき寮合同（中止）
3/11	夜間消防訓練（避難・通報・消火）の自主訓練

奇数月第2木曜日 給食会及びくすのき寮定例職員会
6月10月2月 利用者誕生会（年3回）

研修等

2月 高知市救助救出計画WEB研修会（市障がい福祉課）2名

見学

コロナ感染防止のため中止

（6）課題への対応等

- ①くすのき寮が作成する個別支援計画と併せ、相談支援事業所が利用者の総合的なプランである「サービス等利用計画」の作成に対して、コミュニケーション保障とともに適切な助言、補足説明などを行い一人ひとりに応じた支援を行った。
- ②健康増進のため、早期の通院促進、通院の予約・送迎・同行・手話通訳の依頼・衛生管理、服薬管理・血圧の測定・記録、治療のための日常的なケア、爪切り等の衛生面での対応などきめ細かい支援に努めた。
- ③コロナウイルス感染予防対策として、利用者に対する毎日の検温と記録、体調の聞き取り、寮内の消毒、マスク配布、通院や薬受取の職員の代行支援、手話・口頭・注意書きによる利用者への周知と注意喚起などを実施した。
また、施設内感染（クラスター）防止のため、食堂内のテーブル・椅子を高知市補助金により買い替え、ソーシャルジスタンスを考慮した配置替えを行った。
- ④外出自粛による利用者のストレス軽減と休日の買物の利便性向上のために毎週1回、「スーパーサンプラザ」の移動販売車を寮の駐車場内に招いて、利用者に食品や日用品を販売してもらうサービスを実施している。

○くすのき寮（グループホーム）

(1) 開所日数 365日

(2) 利用者数 (3/3/31)

階（定員）	世話人	利用者
1階（5）		5
2階（10）		9
3階（5）		5
計（20）	4	19

(3) 利用者の年齢及び帰省の状況（家族との連携）

利用者の年齢				帰省の状況（2年度中）			
40歳未満	40歳台	50歳台	60歳台	なし	～10日	～30日	50日以上
2名	4名	7名	6名	8名	4名	0名	7名

(4) 1人当たりの利用料月額（30日）

（単位：円）

区分	家賃月額 25,000 市町村 10,000 補助	光熱水費 1日 400	食費 3食 680 180/250/250	合計 （作業日の昼食は、 就労事業で請求）
利用料	（自己負担） 15,000	12,000	20,400	47,400
3月の状況	最高（42,980）	最低（31,090）	平均（38,310）	

(5) 行事等活動内容

行事等

6月	県障害者スポーツ大会（中止）
8月	高知市納涼花火大会の県庁屋上見物会の申込み支援及び 本館3階での見物会（中止）
10月	高知県身体障害者大運動会（申込み支援）（中止）
10月	利用者検診
10～11月	希望者インフルエンザ予防接種
11月	研修旅行（中止）
11/6～7	寮内大掃除、ワックス掛け
12/22	冬至のゆず湯（1階大浴場）
1/1	新年会
3月	日中消防訓練 本館/くすのき寮合同（中止）
3/11	夜間消防訓練（避難・通報・消火）の自主訓練

奇数月第2木曜日 給食会及びくすのき寮定例職員会
6月10月2月 利用者誕生会（年3回）

研修等

2月 高知市救助救出計画WEB研修会（市障がい福祉課）2名

見学

コロナ感染防止のため中止

（6）課題への対応等

- ①くすのき寮が作成する個別支援計画と併せ、相談支援事業所が利用者の総合的なプランである「サービス等利用計画」の作成に対して、コミュニケーション保障とともに適切な助言、補足説明などを行い一人ひとりに応じた支援を行った。
- ②健康増進のため、早期の通院促進、通院の予約・送迎・同行・手話通訳の依頼・衛生管理、服薬管理・血圧の測定・記録、治療のための日常的なケア、爪切り等の衛生面での対応などきめ細かい支援に努めた。
- ③コロナウイルス感染予防対策として、利用者に対する毎日の検温と記録、体調の聞き取り、寮内の消毒、マスク配布、通院や薬受取の職員の代行支援、手話・口頭・注意書きによる利用者への周知と注意喚起などを実施した。
また、施設内感染（クラスター）防止のため、食堂内のテーブル・椅子を高知市補助金により買い替え、ソーシャルジスタンスを考慮した配置替えを行った。
- ④外出自粛による利用者のストレス軽減と休日の買物の利便性向上のために毎週1回、「スーパーサンプラザ」の移動販売車を寮の駐車場内に招いて、利用者に食品や日用品を販売してもらうサービスを実施している。

○聴覚障害者情報センター

(1) 開館日数284日（休館12月29日～1月4日、祝日：合計81日）

開館時間

利用時間	月～金	土・日
相談・情報提供コーナー	9～17時	9～17時
ビデオライブラリー	9～21時	9～17時
研修室の貸室	9～21時	9～17時

(2) 事業実績

①県委託事業

ア 手話通訳者養成研修

手話通訳者養成講座修了者 通訳Ⅰ 高知市／昼・夜 17名
 宿毛市 6名
 通訳Ⅱ 高知市／昼・夜 10名
 3市（南国・香美・香南） 7名
 通訳Ⅲ 合同 17名
 登録手話通訳者研修 2回 全体学習、手話実技（3回コロナ感染の為に中止）
 ＊県登録手話通訳者 令和元年度（100名）→令和2年度（110名）
 手話通訳者全国統一試験 合格者4名／受験者20名

イ 字幕入りビデオライブラリー事業

登録者（団体含む）208名（個人179名、団体29団体）
 貸出数434本（ビデオ0本、DVD434本）
 移動ライブラリー実施なし

ウ 聴覚障害者向け生活支援事業

難聴者・中途失聴者向け手話教室 土曜日各5回、延べ人数32名
 相談支援 219件 生活支援29回サロンの集まり：毎週木曜日

②市町村委託事業

高知市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 29名 基礎編 16名

③要約筆記者派遣事業

派遣件数53件 派遣人数143名 派遣サークル「やまもも」、「コスモス」

(3) 研修室使用状況（737件⇒524件、8,406名⇒4,591名：使用料収入3,600円）

- ①聴覚障害者関連団体 183件、1,736名
- ②視覚障害者関連団体 43件、232名
- ③その他の障害者関連団体 1件、7名
- ④聴覚障害者情報センター 244件、2,301名
- ⑤その他 53件、315名

(4) 行事等活動内容

行事等

- 中止 ふくし総合フェア（センターのPR、日常生活用具等の展示）
中止 盲学校と合同の地域交流会（映画の上映、日常生活用具展示等）

研修等

4/29	手話通訳者全国統一試験に係る説明会（京都市）	中止
6/2～3	全国聴覚障害者情報提供施設大会引継ぎ（京都市）	1名
6/25～26	全国聴覚障害者情報提供施設大会（北九州市）	中止
11/6～7	全国ろうあ者相談員研修会（山梨県）	中止
11/16～17	全国聴覚障害者情報提供施設大会打合せ（京都市）	1名
12/7	高知県西部地域防災学習会（香南市）	参加者12名
1/21	高知県中央地域防災学習会（高知市）	参加者20名
3/15	高知県西部地域防災学習会（土佐市）	参加者24名

(5) 課題への対応等

- ①情報センターは聴覚障害者が必要な支援や情報発信の拠点としての役割を担ってきたが、南海トラフ地震等への対策として、聴覚障害者理解のための「聞こえない人のための防災ブック」を作成するとともに、聴覚障害者向けの防災学習会や、訪問による生活相談活動など、今まで以上に事業を拡大、充実させていく必要があり引き続き取り組む。
- ②相談事業は、来所による相談に加え、一人暮らしや遠方の高齢者にはこちらから積極的に出向き、巡回相談に応じる体制づくりに取り組む。
- ③高知県内の公的な施設、文化施設等の聴覚障害者に対する設備、対応、配慮の有無を調査（済）、これを基に実際に訪問し啓発と共に各場所の整備に繋げていくように取り組む。（防災の部分を含む。避難経路等）